

紀伊山地の霊場と参詣道の世界遺産登録20周年を記念して、月刊誌・月刊奈良を発行している現代奈良協会、月刊誌・月刊大和路ならら発行しているなら文化交流機構、地方紙・奈良新聞を発行している奈良新聞社の媒体三社が共同で企画しました。第3回は、「3つの世界遺産と奈良の世界遺産の未来」と題して開催いたします。

2025年

日時

1月30日 木

13:00～16:00(予定)

場所

奈良県社会福祉
総合センター
(橿原市大久保町320-11)

第1部

基調講演

宗田 好史先生

(ICOMOS(イコモス)国内委員会理事/
京都府立大名誉教授/関西国際大学教授)

第2部

パネルディスカッション

■パネリスト

古谷 正覚師
(法隆寺管長)

加藤 朝胤師
(薬師寺管主)

五條 良知師
(金峯山寺管領)

岸本 裕史氏
(橿原市魅力創造部部長)

前野 孝久氏
(桜井市理事)

森川 裕一氏
(明日香村村長)

■コーディネーター

田中 利典師

(金峯山寺長臆(ちよろう)/
種智院大学客員教授)

■主催:現代奈良協会、なら文化交流機構、奈良新聞社

■特別協賛:奈良トヨタグループ

■協賛:大和ハウス工業、柿の葉ずしヤマト、よしの保険、大紀、
五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、
十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村(順不同)

■後援:奈良県、吉野町、吉野大峯世界遺産登録20周年記念事業協議会

「3つの世界遺産と 奈良の世界遺産の未来」

(仮題)

紀伊山地の霊場と参詣道
世界遺産登録20周年記念シンポ

入場無料 [要申込・先着順]

1月24日 金 締切 (定員になり次第受付終了)

お申し込み▶メールまたはFAX、はがきにて、お名前、住所、電話番号、参加希望人数を明記の上、下記までお送りください。後日、参加証をお送りいたします。

〒636-0247 田原本町阪手685-1

奈良新聞社 中南和支社「世界遺産登録20周年記念シンポ」係

FAX 0744-34-1222

✉ planning@nara-np.co.jp

出演者プロフィール

基調講演

宗田 好史氏

(ICOMOS(イコモス)国内委員会理事/
京都府立大名誉教授/関西国際大学教授)



静岡県浜松市生まれ。法政大工学部建築学科、1985年同大学院修士課程修了。イタリアのピサ大学・ローマ大学大学院にて都市・地域計画学を専攻、1997年「イタリアの歴史的都市部の再生を可能にした都市政策の研究」で工学博士(京都大学)。国際連合地域開発センターを経て、1993年京都府立大学助教授、2012年教授。2016年～2020年副学長・和食文化研究センター長などを歴任。

2022年3月定年退職、名誉教授。同年4月から関西国際大学教授、国際コミュニケーション学部長。国際記念物遺跡会議(ICOMOS)国内委員会理事、(特)京町家再生研究会理事などを歴任。

コーディネーター

田中 利典師

(金峯山寺長騰(ちようろう)/種智院大学客員教授)



1955年京都府綾部市生まれ。龍谷大学文学部仏教学科・叡山学院専修科卒業。2001年に金峯山修験本宗宗務総長及び金峯山寺執行長に就任。2004年に認定された世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の登録推進に活躍。現在、宗教法人林南院住職、金峯山寺長騰、種智院大学客員教授、一般社団法人仏教生活センター会長など。著書「体を使って心をおさめる一修験道入門」(集英社新書)、「よく生きよく死ぬための仏教入門」(扶桑社新書)、共著に「修験道という生き方」(新潮選書)、「はじめての修験道」(春秋社)、など多数。

パネリスト

古谷 正覚師 (法隆寺管長)

1948年大阪府生まれ。1971年3月に龍谷大学文学部卒業。1972年4月に高野山大学大学院修士課程入学。1974年3月に高野山大学大学院修士課程中退。1982年4月に法隆寺録事就任。1985年1月に法隆寺執事就任。1995年4月に法隆寺文化財保存事務所所長就任。1999年4月に聖徳宗宗務所長・法隆寺執事就任。2020年2月22日に法隆寺代表役員代務者就任。10月22日に聖徳宗第7代管長・法隆寺第130世住職就任。



加藤 朝胤師 (薬師寺管主)

1949年愛知県尾西市(現一宮市)生まれ。1972年3月に日本大学法学部卒業。1990年10月に薬師寺執事に就任。2011年3月に龍谷大学文学部仏教学科卒業。薬師寺宝物管理研究所主任研究員に就任。4月に薬師寺副執事に就任。2012年8月に薬師寺執事に就任。2013年11月に法相宗宗務長に就任。2019年8月16日に薬師寺管主に就任。11月13日に法相宗管長に就任。



五條 良知師 (金峯山寺管領)



1964年、京都府綾部市生まれ。1996年に大峯百日回峰行を行い、大峯奥駈修行の先達を30年以上務め、八千枚大護摩供は三度行満。東南院の住職、金峯山寺執行長、金峯山修験本宗教学部長などを経て、現在は金峯山寺第31世管領、金峯山修験本宗第5代管長。

岸本 裕史氏 (橿原市魅力創造部部長)



1964年奈良県生まれ。1987年3月に信州大学工学部卒業。4月に橿原市役所入庁。2014年より「飛鳥・藤原」の世界遺産登録に従事。

前野 孝久氏 (桜井市理事)

1959年桜井市生まれ。1982年に和歌山大学経済学部卒業。同年に奈良県採用。2009年に奈良県総務部総務課課長補佐、2010年に宇陀市派遣副市長(奈良県地域振興部市町村振興課参事)、2016年に奈良県産業・雇用振興部次長、2017年に奈良県産業・雇用振興部産業振興総合センター所長、2020年に奈良県退職。同年に奈良県森林組合連合会代表理事専務。2023年より桜井市理事。



森川 裕一氏 (明日香村村長)

1956年奈良県生まれ。京都大学大学院工学研究科修了。1981年に奈良県庁入庁。2011年9月に公立学校法人奈良県立医科大学退職。同年10月より明日香村村長。国立大学法人奈良国立大学機構経営協議会委員、社会資本整備審議会専門委員などを務める。

